

大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！

布一枚空に向かって広げると
オレンジ色の世界にかわる

桜色のあたたかな風が吹く道で
ぼくは出会ったきみと出会った

風がもう冷たくなつた
大きさに気づいてほしい赤いわたしに

第4回 万葉の郷とつとりけん

全国高校生短歌大会

Illustration: 武田夏子

出場チーム
大募集!!

令和4年
締切: 9月12日①まで

日時 令和4年 11月13日(日) 午前10時から正午まで

会場 県民ふれあい会館(鳥取県立生涯学習センター)ホール 鳥取県鳥取市扇町21番地

主催 鳥取県

※掲載した短歌は、第3回大会優勝チーム「FIVE」(鳥取県立鳥取東高等学校)が決勝で披露した作品です。

【題・作者】(上から)「布」・佐藤 美桜希、「会」・影井 仁、「大」・神崎 萌衣

其の一 3名で1チームを編成(複数校での編成OK) 

其の二 短歌を1人一首創作(未発表の本人創作短歌)

題: 先鋒「手」 中堅「高」 大将「送」

※必ず示された題(漢字)そのものを短歌に詠み込んでください。
※辞書に掲載されている読み方及び熟語の一部として使用できます。

対象:
全国の
高校生

其の三 郵送またはウェブサイトから申込み

※申込方法の詳細は鳥取県文化政策課ウェブサイト(<https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/>)をご覧ください。

締切: 令和4年9月12日(日)まで(郵送:当日消印有効)

其の四 予選審査(10月上旬に本戦大会出場6チームをウェブサイトにて公表)

書面審査により、本選大会へ出場するチーム及び入選作品を決定します。

審査員:



大森静佳氏

歌人
「塔」短歌会編集委員



小島なお氏

歌人
「コスモス短歌会」所属
2020年度「NHK短歌」選者

其の五 本選大会開催

※新型コロナウイルスの感染状況により、開催方法を変更する場合があります。
また、感染対策にご協力ください。

日時: 令和4年11月13日(日) 午前10時から正午まで

※当日、本戦大会後に交流会開催予定(参加無料)

会場: 県民ふれあい会館(鳥取県立生涯学習センター)ホール

鳥取県鳥取市扇町21番地

どなたでも
観戦OK!
無料

審査員:



大辻隆弘氏

歌人
「未来」編集発行人・選者
現代歌人協会会員
現代歌人集会理事



穂村 弘氏

歌人
歌誌「かばん」所属
日経新聞歌壇選者



江戸 雪氏

歌人
「西瓜」同人
中之島歌会
2022年度「NHK短歌」選者

対戦方法: 作者による短歌の発表後、本選大会審査員との質疑応答を行う。先鋒、中堅、大将戦。各チームは万葉衣装に身を包み、自由なパフォーマンスで作品を発表し、トーナメント方式の団体戦を行う。(準決勝3試合及び決勝の合計4試合)


※準決勝は、予選に応募された作品により対戦する。

決勝の題: 先鋒「流」 中堅「音」 大将「広」

表彰: 優勝、準優勝、第3位、パフォーマンス特別賞(2チーム)、
審査員特別賞(5名、大辻隆弘賞、穂村弘賞、江戸雪賞、大森静佳賞、小島なお賞 各1名)

交通費: 交通費・宿泊費として、参加チームには上限150,000円/チーム、
審査員特別賞受賞者には上限50,000円/名を支給

応募・問合せ先

鳥取県地域づくり推進部文化政策課 〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220 TEL. 0857-26-7134 FAX. 0857-26-8108
E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp WEB. <https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/> 万葉の郷とっとりけん 短歌大会 

前回大会の様子
はこちらから!

ウェブサイト

大会の開催結果とあわせて、
大会で発表された短歌作品、
審査員の講評を掲載。



ダイジェスト動画[約5分]▶

大会の名場面をギュッと詰め込みました!

 YouTube 「とっとり動画ちゃんねる」



全編動画[約1時間50分]▶

判定の瞬間、講評まで、全て見せます!

 YouTube 「アートピアとっとり(鳥取県文化政策課)」



主催: 鳥取県

第20回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2022参加事業 とっとり県民カレッジ連携講座

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社
時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局
日本海テレビ BSS山陰放送 いなびょんぴょんネット 中海テレビ放送 日本海ケーブルネットワーク 鳥取中央有線放送株式会社(順不同)



二人の万葉歌人が国司として赴任した地、鳥取県。
一人は「令和」の出典となった梅花の宴の場にいた山上憶良、もう一人は万葉集結びの歌を詠んだ大伴家持である。
万葉集ゆかりの地である鳥取県で、万葉衣装に身を包んで自由なパフォーマンスで短歌を詠んでみよう!